

# 132 2024 山口県 土地改良だより

発行：山口県土地改良事業団体連合会 会長 北村経夫 山口市糸米二丁目13番35号 TEL 083(933)0033  
FAX 083(933)0048



「未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展2023」  
農林水産大臣賞

山口市立宮野小学校 1年 清水星那  
作品名：ぼくもたべたいキラキラごはん

## ～ 目次 ～

◇新年挨拶	1
◇国への要望活動	8
◇県への要望活動	9
◇「未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展2023」入賞作品の紹介	10
◇トピック	11
◇研修会	12
◇行事から	15
◇男女共同参画について	17
◇県からのお知らせ	18
◇水土里ネット山口の概要	19



# 新年のご挨拶

参議院議員

山口県土地改良事業団体連合会

会長 北村 経夫

新年のご挨拶を申し上げます。

平素より本会の運営ならびに農業農村整備事業の推進に関しまして、格別のご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

はじめに、本年元日の能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された全ての皆様に関心からお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一日も早い復興をお祈りいたします。

昨年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した年でした。このことにより、人々の交流が再開し地域に活気が戻りつつある一方、ウクライナ及びパレスチナにおける紛争、トルコ・シリア地震などをはじめとした自然災害も多発する不透明感の増した1年でもありました。

このような中、実に約20年ぶりに農政の憲法ともいわれる「食料・農業・農村基本法」の改正に向けて、食料の安定供給の確保、多面的機能の十分な発揮、農業農村の持続的な発展、農村の振興を基本理念とした議論がなされています。この基本理念の実現の根幹となるのが農地の基盤整備であります。人口減少に歯止めがかからない今、食料を安定的に確保するためにも今ある農地を活かし、維持していくことが求められます。農地を活かすためには基盤整備と並行して集約化を進め、少人数でも農地を維持し得る策を模索する必要があります。幸い、令和6年度土地改良関係当初予算の政府予算案は、関係皆様方の精力的な活動により4,463億円、令和5年度補正予算を含めると6,240億円を確保することができました。この予算を活かしきることが次の取組への一歩へ繋がると信じるものです。

また、男女共同参画に関して、土地改良区の女性理事の割合を10%以上とする目標の達成期限まで残すところ1年余りとなりました。すでに女性理事登用に向け多大なご尽力をいただいております。皆様の日頃からの真摯な取組により地域理解は進み、お一人またお一人と女性理事が誕生していますので、この流れを加速度的に推進していきたいと思っております。その理由は、国が示す目標値達成のためではなく、新たな視点から農業農村の健全な将来像を描くためです。その手段の一つとしてこの女性理事登用を今一度ご考慮いただきますようお願いいたします。全国土地改良事業団体連合会のホームページには全国の登用事例が紹介されていますので、ぜひご覧ください。

結びに、食料・農業・農村基本法の改正により農業が新たな局面を迎える中、関係皆様方とより一層絆を深めながら当会職員も日々職務に邁進して参りますので、今後ともご支援ご高配を賜りますようお願い申し上げます。皆様方の今後益々のご健勝とご活躍を祈念し、新年のご挨拶といたします。



# 年頭あいさつ

山口県知事 村岡 嗣 政

## 【はじめに】

令和6年の年頭に当たり、県民の皆様には、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

まず初めに、本年元日に「令和6年能登半島地震」が発生し、甚大な被害が生じました。お亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

県としては、必要な支援物資の提供や今後の被災地域の復旧・復興支援など、全国知事会等と連携しながら、全力で取り組んでいきたいと考えております。

さて、コロナ禍を乗り越え、初めての新年を迎えました。全世界で人流・交流が活発化し、日本経済が改善しつつあることから、これを追い風に、県づくりを新たなステージに引き上げていかなければなりません。

デジタル化・脱炭素化等の様々な社会変革を推進力にしながら、本県の経済や暮らしをより高いレベルに上げていくと同時に、県政の最重要課題である人口減少に歯止めをかけるため、最大のターゲットとなる若者・女性に選ばれる山口県になるための取組をスピード感を持って進めていくことが必要です。

そのため、現場の声にしっかりと耳を傾けながら、「やまぐち未来維新プラン」に基づき、産業維新・大交流維新・生活維新の「3つの維新」の取組を一層加速し、成果を着実に積み重ねていくことで、本県の更なる発展と人口減少の克服に確かな道筋をつけ、大きく飛躍していく一年にしていきたいと考えています。

## 【やまぐち未来維新プランの取組の加速】

私たちを取り巻く社会環境や人々の意識・価値観は、大きく、急速に変化しており、このような変化や新たな課題に的確に対応し、本県の成長に繋げていかなければなりません。

このため、産業の分野では、昨年創設した脱炭素社会実現基金を活用し、県経済を牽引するコンビナートの脱炭素化の取組を加速するとともに、飛躍的な市場拡大が見込まれる半導体・蓄電池関連産業の集積促進に向けた取組を強化してまいります。

また、インバウンドが本格的な回復に向かうなど、世界中で交流・物流の更なる拡大が期待できる、このタイミングを絶好のチャンスと捉え、中堅・中小企業の海外展開や、農林水産物等の輸出拡大などにより旺盛な海外需要を取り込み、成長する海外市場への展開をこれまで以上に進めていきます。

観光においても、山口宇部空港と韓国や台湾を結ぶチャーター便の運航が決定し、また、米紙のニューヨーク・タイムズが「2024年に行くべき52カ所」として発表したリストの3番目に山口市が選ばれました。こうしたことも弾みにして、インバウンドの拡大に向けた取組を強力に進めるとともに、本県の恵まれた自然環境を生かしたアウトドアツーリズムなどを推進し、「おいでませ ふくの国 山口」のキャッチフレーズの下、「観光県やまぐち」の創造を目指して、本県観光の認知度向上と誘客促進に繋がる観光プロモーションを、大胆に力強く展開していきたいと考えています。

それと共に、コロナ禍で損なわれた人と人、人と地域の交流の回復と更なる拡大を図るため、きらら博記念公園の交流拠点化に向けた整備等を進めていきます。

さらに、何よりも大切な県民の暮らしの安心・安全をしっかりと守り抜くための取組も充実を図ります。コロナの経験で重要性が高まっている感染症対策を強化する観点も踏まえ、県立総合医療センターの建て替えによる機能強化を着実に進めるなど、医療提供体制の整備

を推進します。

また、昨年梅雨時の大雨で、県西部や中部を中心に大きな被害が生じたことから、その復旧を進めるとともに、頻発化・激甚化する自然災害から県民の皆様の命と暮らしを守るため、ハード・ソフトの両面から、防災・減災、国土強靱化の取組を一層強化していきます。

加えて、これからの社会や暮らしに不可欠なデジタル技術の活用をさらに進め、企業における業務の効率化や生産性の向上、自動運転等による交通DXの推進、様々なサービスのデジタル化による生活の利便性の向上や教育の充実等に向け、県政の各分野で、県民の皆様に効果を実感していただけるデジタル実装の取組を強力に進めます。

また、県庁における「行政DX・新たな価値を創出する働き方改革」の取組を本格化し、多様化・複雑化する行政ニーズに今後もの確に応えられるよう、「やまぐちワークスタイルシフト」の名のもとに、デジタルを積極的に活用して、価値ある仕事に効率的に人と時間を集中させる働き方を推進し、その成果を県内の市町や民間企業等にも波及させたいと考えています。

### 【人口減少の克服に向けた挑戦】

人口減少は、本県の活力を損ない、経済活動や地域社会等に深刻な影響を及ぼす県政の最重要課題であり、将来にわたって持続可能で活力ある山口県を実現していくためには、これに歯止めをかけていくことが必要です。

人口減少の大きな要因は、加速している少子化と女性を中心とした若者の県外流出であり、当事者である若い世代に向けた対策を見直し、実効性を高めていくことが重要であることから、大学生や子育て世代の若者から、就職や子育て等に関する考えを伺ってきたところです。

この声をしっかりと受け止め、若者や女性のニーズと期待に応える取組を充実・強化し、迅速に進めていかなければなりません。

#### 《「少子化の流れ」を変える》

そのため、まず、少子化の流れを変えることを目指し、若者が抱えている結婚や子育てへのポジティブなイメージを実現できるよう、出会いの場の創出や、男性の育休取得や家事・子育てへの参画が当たりまえの社会の実現に向けた取組などを進めます。

また、経済的な負担感や子育て環境への不安の解消に向けて、国の「次元の異なる少子化対策」に呼应し、相乗効果を生み出す県独自のきめ細かな施策を大胆かつ積極的に進めていきます。

#### 《「社会減の流れ」を断ち切る》

社会減の流れを断ち切るための取組も強化します。若者が希望するデジタル関連企業をはじめとした成長企業の誘致により魅力ある雇用の場を確保するとともに、仕事へのやりがいや誇りを高める、ワークエンゲージメントの実現や資格取得・リスキリング等への支援など、若者の価値観に合った労働環境を整備し、若者・女性の県内定着を促進します。

また、県外に進学した若者のUターンの流れを創ることも重要であることから、若者からの評価も高い本県の「暮らしやすさ」の魅力を伝える情報発信等を強化するとともに、地元在学中から、魅力ある地元企業を知り、地域について学ぶ機会を充実します。

さらに、移住・定住の促進に向けても、若者や子育て世代、特に女性をターゲットとした情報発信や移住支援等の取組を強力に推進します。

#### 《「住み良い地域社会」を創る》

同時に、人口減少を食い止め、未来への活力を創出するためにも、快適でにぎわいのある未来のまちづくりに取り組むとともに、厳しい人口減少の中で、持続可能な地域社会を形成するため、医療・介護提供体制の充実・強化や、地域交通の維持・活性化、中山間地域における「やまぐち元気生活圏」づくりなどを進めていきたいと考えています。

### 【終わりに】

私は、県民誰もが、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現に向けて、「やまぐち未来維新プラン」に基づき、新たな県づくりの取組を更に力強く前に進めます。そして、人口減少に歯止めをかけ、県政の様々な分野で、県民の皆様に目に見える確かな成果をお届けしていく、このことに全力を挙げて取り組んでまいります。

引き続き、県民の皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。



# 新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会  
会長 二階 俊博

令和6年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

本年元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当会も被災地域の1日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、関係各位におかれましてもご支援をお願いします。

昨年は、国内では新型コロナウイルス禍が一段落する一方、ロシアによるウクライナ侵略に加え、中東においても軍事衝突が起こるなど、国際的な混乱が続く年となりました。

国内においては、農業者の高齢化や減少が進み、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような情勢の中、命を支える食料の確保は、後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の強化は、国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されています。

我々は、食料安全保障の確立の観点からも、食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

令和6年度農業農村整備事業関係予算につきましては、全国の関係者の皆様の熱意ある要請活動の結果、政府予算案において、4,463億円を確保することができました。令和5年度補正予算を含めると昨年度を上回る6,240億円となります。

御尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第五次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、残された期間は2年余りとなります。

将来の土地改良組織の体制強化・発展のために女性の参画を積極的に進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

私は、本会の会長に就任以来、「闘う土地改良」を旗印に組織一体となって闘ってまいりました。土地改良の代表として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が「車の両輪」となって、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声を国会に届けるためにも、お二人の活動の支援をお願いいたします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。

男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていこうではありませんか。

本年も皆様の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、全国の皆様が日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

財務大臣 政務官

全国水土里ネット会長 会議顧問

参議院議員 進 藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。

本年は元日から能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたしますとともにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の復旧、復興に向け、私も全力を尽くしてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

山口県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下において、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

元日の夕刻に発生した「令和6年能登半島地震」により尊い命を失われた方々に哀悼の誠を捧げさせていただきます。さらに、被害に遭われ、不自由な避難生活を余儀なくされている皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、速やかな生活基盤の回復と、今後進められる農地・農業用施設を含む被害状況の把握や早期復旧に向け、私も関係機関等と連携しながらしっかりと対応してまいります。

また、本件地震のほかにも、昨今の激甚化、頻発化する自然災害は、昨年も全国各地で風水害や土砂災害等を発生させ、さらに、夏場の高温や渇水など農業用水の安定供給にも影響を及ぼしています。被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げ、早期復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいります。

さて、辰年を迎え、山口県土地改良事業団体連合会ならびに会員各機関、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

私も皆様方から多くのご支援をいただきつつ、現場でお聞きした皆様のお声やご要望等に対し、それぞれの地域事情に即した解決に向け、国政の場から全力で対応してまいりました。昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、土地改良関係として、昨年度の補正予算から100億円増の1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災・国土強靱化対策857億円）を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料高騰分の7割を支援する制度を4月まで延長する対策も含まれています。加えて、12月に閣議決定した令和6年度当初予算案では、前年を上回る4,463億円が計上され、補正予算と合わせた総額は6,240億円となっております。これから行われる通常国会において、参院予算委の理事として、早期成立に向け努力してまいります。

さらに、来る通常国会では、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」の四半世紀ぶりの改正が予定されていることから、我が国の食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化等についてしっかり議論を深め、基本法に位置付けていく必要があります。加えて、土地改良が担う重要な役割としての農地や水利施設等の整備、保全管理、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組、農業農村関係人口の拡大など、土地改良区の運営基盤の強化を図っていくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念に、現場や地域の課題をしっかりと伺いし、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保や制度の充実に向け、鋭意努力してまいり決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、山口県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の方々の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。



# 新年のご挨拶

山口県農林水産部審議監 長 嶺 栄 治

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

旧年中は、本県農業・農村の振興に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。「令和6年能登半島地震」により、お亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

今年が辰年で、急速な成長と変化、活力旺盛となって大きく成長する年になると言われ、皆様にとって飛躍の一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルスの5類感染症への移行により、会議や懇親会など、対面でのコミュニケーションの場が回復し、関係の皆様から生のお話を伺う意思疎通の重要性を改めて感じています。さて、昨年秋から国においては、食料・農業・農村基本法の改正に向けて、基本法検証・農業基本政策・農地政策・食料産業政策の分科会別で議論がスタートしました。

現行の基本法が制定された平成11年（1990年後半）当時は、WTO体制の下で、自由貿易の進展等を背景として、食料安全保障は、緊急時に焦点が絞られていましたが、今回の改正では、平時と緊急時の距離が近くなっているとの理由から、平時の体制強化にも焦点が当てられているのが特徴です。

このため、基本理念の見直しの方向において、4つのポイントとして、1「食料の安定供給のための総合的な取組」、2「食品アクセスの改善」、3「海外市場も視野に入れた産業への転換」、4「適正な価格形成に向けた仕組みの構築」が示されました。

国際情勢の変化や気候変動、地政学的な要因などで、いつでも、必要な量を、安い価格で、輸入できるとは限らないから、いざという時のために、平時からの備えが重要だということです。

また、食料安全保障の議論では、カロリーベースと生産額ベースの食料自給率が登場します。

平成11年当時と直近の令和4年度概算値を比較すると、カロリーベース食料自給率は、40%~38%で推移しているのに対して、生産額ベース食料自給率は、72%~58%と変動幅が大きくなっています。

これは、国際的な穀物価格や飼料・肥料・燃油等の生産資材価格の上昇、物流費の高騰、円安等を背景として、総じて輸入価格が上昇し、輸入額が増加したことが要因です。

ここまでを整理しますと、国内農業生産の増大を基本として、海外市場も視野に入れた産業への転換も図るとともに、輸入と備蓄とを適切に組み合わせつつ、適正な価格形成に向けた仕組みの構築と言うことが、改正の概観かと感じています。

将来の担い手の方が魅力と期待を持って、ワクワクしながら農業を展開し、活躍できるよう「夢の持てる農業」に向けた改正のとなることを切に願うところです。

食料安全保障の前提は、農業生産基盤と担い手、新技術の活用の3つが強固であることです。

農村整備の関係では「農地や農業用排水施設等の農業生産基盤は、食料の安定供給の確保や農業の生産性向上を図っていくうえで極めて重要であるとともに、国土の保全や健全な水循環の維持・形成にも寄与しており、今後も効率的な整備と適切な維持管理が不可欠である」と記されています。

農村整備の役割に変わりはありませんが、これから非常に大きな転換期が訪れるとすれば、地域での合意形成の結果を実現するため、一層気を引き締めて取り組む必要がある勝負どころではないかと強く感じています。

農業・農村の振興に向けて、皆様のご要望に応えられるよう、全力で取り組んでまいりたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 国に令和6年度予算編成に向けた要望書を提出

11月6日（月）から8日（水）にかけて、山口県農業農村整備事業推進協議会と連名で令和6年度予算編成に向け、当初予算の確保要請を政府関係者、農林水産省及び財務省に行いました。次の事項について格段の配慮をお願いしました。

### 【格段の配慮を願う事項】

- ◎計画的な事業実施のため、地域の要望に十分応えることのできる農業農村整備事業当初予算の確保
- ◎防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の十分な予算確保
- ◎日本型直接支払交付金制度の推進

令和5年11月

山口県土地改良事業団体連合会  
会長 北村 経夫

山口県農業農村整備事業推進協議会  
会長 北村 経夫

令和5年度の十分な予算編成へのお礼とともに、令和6年度予算については当初予算の十分な確保と防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策が大詰めとなってきていることから、次期対策への期待を強く訴えました。



宮下農林水産大臣に要望



森山自由民主党総務会長に要望



青山農村振興局次長に要望



緒方整備部長に要望

## 村岡県知事に令和6年度予算編成に向けた要望書を提出

令和5年11月24日（金）県庁知事応接室において、村岡知事に対して令和6年度県予算・施策について、要望を行いました。

北村会長、守田副会長、藏重専務理事による熱のこもった要望活動を行いました。

### 要望書

#### 要旨

県においては、新たな県政推進の指針となる『やまぐち未来維新プラン』を策定され、その部門計画である『やまぐち農林水産業振興計画』に基づき、生産性と持続性を両立した強い農林水産業の育成に向け、各種の施策・事業を展開する方針を示されたところです。

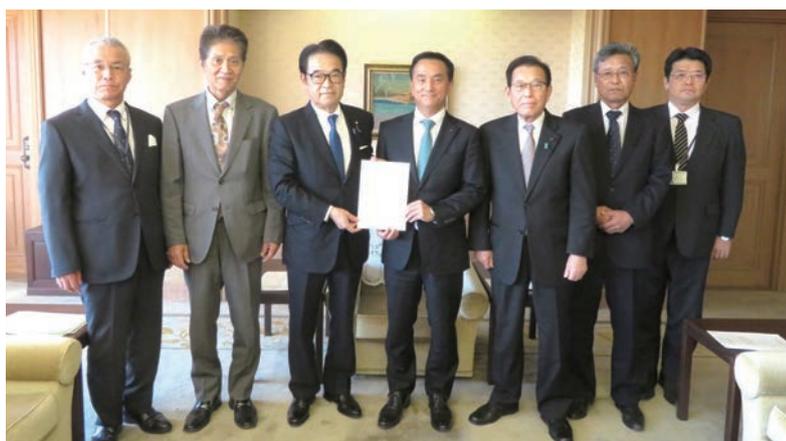
我々の推進する農業農村整備事業は、農地の大区画化と水田高機能化を進め、担い手への農地集積・集約化を加速するなど「食料安全保障」の推進に不可欠な事業であり、産地の維持・拡大に向けては、先端技術を活用したスマート農業に対応した基盤整備が重要であり、地元からの要望も多く寄せられているところです。また、老朽化した農業水利施設の防災・減災対策や長寿命化対策に取り組み、更に、農村協働力を維持発展し地域資源の保全管理体制を強化するなど、生産性と持続性を両立した強い農林水産業の実現に必要な事業です。

このたび、国は、令和6年度農業農村整備事業関係予算の概算要求において、対前年度比119.8%増の5,338億円を計上しており、我々も地域の要望に応えられるよう必要な額を安定的に確保していかなければならないと強く望んでいるところです。

つきましては、令和6年度の予算編成にあたり、計画的な事業実施のため、地域の要望に十分応えられる令和6年度農業農村整備事業当初予算の確保に特段の配慮をお願いいたします。

#### 【特に要望のある個別事項】

- 1 担い手への農地の集積・集約化や麦・大豆等の土地利用作物の拡大、さらに高収益作物への転換を図るため、スマート農業技術の活用を可能とする農地の大区画化、地下水位制御システムを含めた水田高機能化の推進（継続）
- 2 農業用ため池をはじめとする老朽化した農業水利施設の保全整備や防災・減災対策の推進（継続）
- 3 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、日本型直接支払制度の推進（継続）
- 4 国営緊急農地再編整備事業南周防地区の着実な推進（継続）



「未来へつなごう!ふるさとの水土里 子ども絵画展2023」

## 入賞作品の紹介

おめでとうございます!!

2000年から始まった「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展。本年は全国から約3,000点の応募があり、山口県からは3点入賞。12月5日から12月11日まで東京都美術館で展示されました。

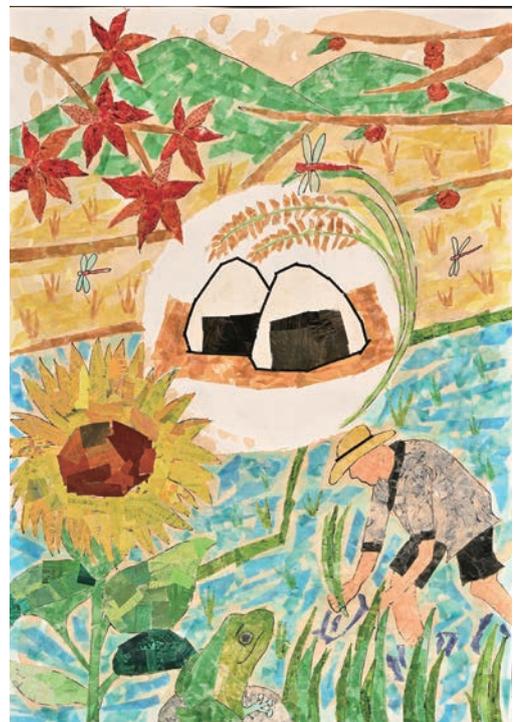
### 農林水産大臣賞

作品名：ぼくもたべたいキラキラごはん  
学校名：山口市立宮野小学校  
学年・氏名：1年・清水星那



### 水土里ネット山口会長賞

作品名：牛とばあちゃん  
学校名：山口市立柚野木小学校  
学年・氏名：6年・賀屋蔵之佑



### 恵みの三つの水賞

作品名：お米に四季を感じて  
学校名：山口市立宮野小学校  
学年・氏名：5年・清水星汰



## 全国土地改良大会が開催されました

### 第45回全国土地改良大会 福井大会【10月12日（木）】

全国土地改良大会が福井県にて開催されました。『「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある ～ふくいで語る土地改良の未来～』をテーマとして、全国の土地改良関係者約4,000人が全国から一堂に会し、将来に向かって守っていくために必要な土地改良の大切さを共有、発信しました。

土地改良事業功績者表彰が行われ、山口県からは周東川越土地改良区の林聖文理事長が「全国土地改良事業功績者表彰 全国土地改良事業団体連合会長表彰」を受賞されました。

大会旗が福井県土連から全土連、そして次期大会開催県である千葉県土連へ引き継がれました。



サンドーム福井（福井県越前市）



福井県土連から全土連へ



全土連から千葉県土連へ



全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された林聖文氏

## おめでとうございます！ 全国土地改良事業功績者表彰

氏は、平成13年10月に玖珂郡周東町川越土地改良区理事に就任され、本地域の課題解消のために邁進されました。理事長就任後も、円滑な事業完了に向け尽力され「希望の田園地域」を創り上げられました。また、「生活できるようになってからが農業」という信念の下、熱心に担い手育成に取り組まれています。

このように、長きにわたりソフト・ハード両面から広く周東地域の農業農村の振興に心血を注がれてきました。

## 農業農村整備の集いが開催されました

### 農業農村整備の集い【11月7日（火）】

全国土地改良事業団体連合会主催の農業農村整備の集いが東京で開催されました。

『水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を最大限に発揮するべく、引き続きその体制強化を図っていく必要がある。』と要請書でうたい、「闘う土地改良」のスローガンの下、全国の水土里ネットが一致団結し実現を図っていくことを確認しました。

『土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。』等、10項目の実現を図る国への要請文を採択し、ガンバロウ三唱でしめくりました。



シェンバツハ・サボー（東京都千代田区平河町）

# 研 修 会

## 山口大学農学部NN研修会【9月14日（木）】

山口大学農学部の2年生と3年生を対象とした特別講義の一環で当会の事業内容を取り上げていただきました。

昨年に引き続き2度目の対面開催となり、今回は昨年の約2倍の学生の参加がありました。本年も、秋穂土地改良区協力のもと、座学のみならず、ため池・ポンプ施設・集排水処理施設の見学など、体験を交えた研修会を実施することができました。

### ～参加した学生の感想～



ため池の構造や目的などについて知ることが出来た。浸食や風化などへの具体的な対策も聞くことができた。



ため池の見学



自分たちが利用している水には多くの人が関わり、処理がなされているおかげで環境が保たれていることが分かった。



集排水処理施設の見学



土地改良区の主な活動について知ることができた。土地改良区のおかげでおいしいお米や野菜を食べることができているのだと感じた。



排水システムを確立することで、土質だけでなく農作物の生育具合も劇的に変化させられることに驚いた。今後フォアスが抱える課題が解決すれば、日本の農業の発展に大きな貢献ができると感じた。



秋穂土地改良区での座学



今まであまり気にかけてこなかった設備の意味や役割について知ることができた。様々な分野や仕事によって農業が成り立っていることを知り、これからの農業への関わり方の視野が広がった。

## 令和5年度統合整備推進研修（会計研修）【11月1日（水）】

全国土地改良事業団体連合会主催の会計研修を全土連支援部の田中克哉主幹と保倉拓也主事を講師に迎え、県土連ビル5階大会議室にて開催しました。

50名を超える参加者のもと、昨年度から運用が義務付けられている複式簿記について、理解を深める研修が行われました。

### 研修内容

- ・財務諸表等の作成手続き
- ・会計処理事例紹介
- ・財務諸表等を活用した財務分析の方法



保倉拓也主事



田中克哉主幹



県土連ビル5階大会議室

## 令和5年度換地委員等実務研修会【11月21日（火）、22日（水）】

山口県換地センター（当会内設置）主催で毎年実施している研修会です。それぞれの地区において換地事務がスムーズに進行することを目的に、換地事務に携わる方々を対象として、各分野の専門家を招いて2日間にわたり研修を行いました。

2日間で延べ100名を超える方々にご参加いただきました。



山口県セミナーパーク 101号室

月 日	時 間	科 目	講 師
11月21日（火）	10:00~12:00	・相続登記の申請義務化について ・相続土地国庫帰属制度について	山口地方法務局 不動産登記部門 総務登記官 古川 信明 表示登記専門官 野村 博之
	13:00~14:00	・農地中間管理事業について	やまぐち農林振興公社 農地中間管理事業部 アドバイザー 小林 剛
	14:00~16:30	・換地理論 ・交換分合の概要	中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課 農地集団化係長 溝口 祐子
11月22日（水）	10:00~12:00	・事業開始に向けての注意点について ・換地委員の任務について	山口県農林水産部 農村整備課 改良区指導班 主査 豊原 義雄
	13:00~16:00	・土地の調査について ・換地設計基準について ・土地評価と換地清算 ・換地原案について	山口県土地改良事業団体連合会 事業部用地換地課 課長 松尾 徹 主任 野村のぞみ 技師 藤田 拓海

## 令和5年度若年職員研修（現地研修会）【12月7日（木）】

農業農村整備事業に関する基礎知識の習得に加え、事業実施に必要となる資料の作成能力や説明力の向上、情報共有による業務の効率化、一体感の醸成を図ることなどを目的として、県（全出先）と土連の若年職員を対象として開催されました。県からは22名、県土連からは10名が参加しました。本研修は若年職員が説明を担当していたこともあり、当会の若年職員も良い刺激を受けたようです。

### 研修内容

#### ○座学

- |               |       |
|---------------|-------|
| 農業競争力強化農地整備事業 | 長沢地区  |
| 農地耕作条件改善事業    | 上ノ原地区 |
| ・暗渠排水について     |       |
| ・水管理システムについて  |       |
| 農村地域防災減災事業    | 中内地区  |

#### ○現地研修

- |               |       |
|---------------|-------|
| 農業競争力強化農地整備事業 | 長沢地区  |
| 広域営農団地農道整備事業  | 阿武北地区 |



萩総合庁舎での座学

### 長沢地区での現地研修



AV自動給水栓の説明



長沢ため池の説明

### 阿武北地区での現地研修



道路新設工事（第3号）の説明



管理道の説明

## ● 行事から

### 都道府県土連・会員土地改良区 事務責任者会議【9月13日（水）】オンライン開催

全土連の会員（47都道府県土連および27土地改良区）の事務責任者を対象に「令和6年度農業農村整備事業予算（概算要求）」について、オンライン形式で開催されました。

### 令和5年度換地関係異議紛争処理実務研修会（中国四国ブロック） 【10月5日（木）、6日（金）】松江テルサ（島根県松江市）

10月5日から10月6日の2日間にわたって、中国四国管内の県と県土連担当者41名出席のもと開催されました。

鳥取県、広島県及び高知県土地改良事業団体連合会から、換地関係異議紛争処理事例について発表がありました。いずれも、県、電力会社、法務局といった行政サイドの調整ごとに関する事案でした。

### 令和5年度中国四国土地改良事業団体連合会事務部会【10月19日（木）】

今年度の当番県である香川県にて、中国四国管内の県土連担当者16名出席のもと対面で開催されました。

協議事項は、優先事項4点、組織・運営全般6点、人事・労務4点、給与・財務・庶務全般13点、個別分野・その他10点など計5項目38点に分けて情報交換を行いました。



リーガホテルゼスト高松（香川県高松市）

### 山口県農業農村整備事業推進協議会 令和5年度会議【議決日：11月1日（水）】

本年度の会議は書面開催としました。

議事は下記のとおりで、いずれも原案のとおり承認されました。

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について

第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算の承認について

第3号議案 任期満了に伴う役員の改選について

### 令和5年度全国水土里ネット女性の会研修会【11月8日（水）】

100名を超える参加者のもと、土地改良にかかわる全ての人々が性別・年齢を問わず自らの能力を十分に発揮し、将来に向け土地改良や土地改良団体のあるべき姿を目指し、環境づくりを行うことを目的とする取り組みの一環として開催されました。

アンコンシャスバイアス講義が行われた後、グループワークが行われ、最後に男女共同参画における「伝えること」の大切さについて講義が行われました。



ビジョンセンター永田町  
[Vision Hall]（東京都千代田区）

#### ～アンコンシャスバイアスとは～

アンコンシャスバイアス（unconscious bias）とは、日本語にすると「無意識の思い込み」となります。自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいい、自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。

（参考）内閣府男女共同参画局 ホームページ【啓発用動画があります】

## 令和5年度農業農村整備広報担当者研修会【11月8日（水）】

土地改良の広報戦略の1つとしてホームページを通じた情報提供や広報活動のためのスキルを向上させるため、専門家による講習を行い、今後の広報活動の一考とするもとして開催されました。

映像制作についての談話があった後、ホームページについて事例紹介とHPの有効活用等広報戦略について講義が行われました。



ビジョンセンター永田町  
[Vision Hall] (東京都千代田区)

## 土地改良施設の整備補修事例検討会【11月27日（月）、28日（火）】

島根県、岡山県、高知県から各40分程度の事例提案があり、質疑がなされる形で検討会が行われました。翌日は現地検討会として、山口市榎野川東土地改良区の管理施設（淋光堰、名田島4号揚水機場、名田島第1排水機場、新開作南蛮樋）などを見学しました。

来年度は島根県で開催されます。



防長苑 (山口市)



名田島第1排水機場の見学



新開作南蛮樋の見学

## 山口県土地改良区職員連絡協議会 総会・研修会【12月12日（火）】

昨年度設立された山口県土地改良区職員連絡協議会の総会と研修会が開催されました。

議事は下記のとおりで、いずれも原案のとおり承認されました。

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算について



かめ福オンプライス

議事終了後、山口産業保健総合支援センターの山下清可氏から「人との対応に困った時、どうする？」と題してお話いただきました。コミュニケーションはズレやすいことや、クレームへの対処方法などについて体を動かすレクリエーションを交えながらの研修でした。

さらに、午後には元農林水産省農村振興局長の太田信介氏から「山口の水土里ネットを未来に！」と題してお話いただきました。前半は山口の水土里の歴史と現状についてご講演いただき、後半は山口の水土里ネットの未来についてワークショップを行いました。参加者に積極的に意見を求めながら進行し、活発な研修となりました。



山下清可氏



太田信介氏

## 全国水土里ネット女性の会及びあきた水土里ネット女性の会主催により、令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazunoが開催されました

第5次男女共同参画基本計画の目標達成に向け、男女共同参画の意義をより一層深めるとともに新時代にふさわしい土地改良区の創造を目的として、全国より約200名の出席のもと9月27日(水)～28日(木)の2日間開催されました。

主催者、来賓挨拶が行われた後、農林水産省農村振興局農村政策部長の佐藤一絵氏より「土地改良区の未来を拓く多様な人材活躍に向けて」基調講演が行われました。行動規制は簡単ですが、意識改革は難しいとして、食料・農業・農村基本計画や第4次男女共同参画基本計画においても、「意識改革」をキーワードに含めるなどして変革を促進していくこととしました。

その後、「男女共同参画社会を実現するためには」というテーマでパネルディスカッションが行われ、下記3点がまとめられました。

- ・女性の門を開くこと
- ・性別の固定観念をなくすこと
- ・このネットワークを活かすこと

2日目には現地研修やトーク講演も行われました。今後の当女性の会の運営について、運営委員を中心に改めて検討していく必要性を実感するとともに、これからの女性の会の活動指針の1つに繋がる大会となりました。



9月27日(水) ホテル鹿角(秋田県鹿角市)

## 土地改良区における女性理事登用の推進について

全国土地改良事業団体連合会ホームページで女性理事登用の事例として山口県から下記の土地改良区が紹介されています。ご紹介します。

### 下関市吉田土地改良区

令和4年4月に女性理事が就任。  
～理事の紹介～



**藤村理事**



↑記事詳細

夫と水稲、ナス等の野菜を栽培し、団体営ほ場整備事業の推進に積極的に取り組みましたが、現在は農地を法人に預けて、農産物加工所「里山工房よっちゃん」の代表として頑張っています。地区のほ場整備3期対策にも協力して取り組みます。

### 下関市豊田町土地改良区

令和4年9月に女性の理事が就任。  
～理事の紹介～



**河本理事**



↑記事詳細

実家で両親は酪農と農業を営んでおり、長女として小さいころから手伝いをしていました。農学への興味があることから農業大学で学び、現在も、夫・子どもたちと共に営農に励んでいます。



全国の土地改良区での女性理事登用事例が多数紹介されています。ぜひご覧ください。



国は全国の土地改良区において2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。また理事に占める女性の割合を10%以上にする目標を掲げています。

組合員からの登用が難しい場合は、定款で定めれば員外理事での登用もできます。

# 農村整備課だより

## 第5次男女共同参画基本計画成果目標 (目標年度 2025年度)

項目	目標
女性理事が登用されていない組織数	0
理事に占める女性の割合	10%

### 山口県内の登用状況 (R5.3.31現在)

地区数	うち女性理事のいる地区	女性のいる地区の割合
107地区	12地区	11.2%
理事総数	うち女性	女性割合
883人	12人	1.4%

議論が始まっていない  
改良区はこちらから

進め方が分からない  
改良区はこちらから



男女共同参画の推進は、農村地域において、高齢化の進展や人口減が顕著となる中、多様な人材が活躍できる機会を創設し、その能力が適切に発揮されることにより、土地改良区の適正な事業・組織運営の確保と、農村の活性化に資する極めて重要な取組です。

また、土地改良区にとっても、新たな視点・感性をもった理事の登用により、組織の活性化に繋がるものと考えられます。

組合員に女性がいらない、少ないという場合には、員外理事制度を活用することで員外女性理事の登用も可能です。

まずは、女性理事の登用について、理事会や総(代)会で話し合ってみませんか。

誰もが活躍できる  
土地改良区に向けて！  
男女共同参画の推進！

改良区指導班



詳しくはHPで

山口県農村整備課

検索



県では、農業農村整備に携わる皆様から情報提供いただき、各種対策に役立てる「スマホアプリ」を運用しています。

ため池点検や農業用施設の維持管理情報、豪雨や地震時の災害情報、農業農村の風景などを撮影・送信いただくことで、住民の避難や防災対策、農業農村の振興に役立てます。

また、多面的機能支払や中山間地域等直接支払の活動状況をアプリで撮影・登録することにより、活動組織等の皆様は「活動日誌」を簡単に作成できます。

アプリの積極的な活用をお願いします。

スマホアプリを活用して  
災害・点検の報告と活動  
日誌の作成を！

整備班

## 国の制度切替と活動期間のイメージ

	(R元～) R5	R6	R7～
国の制度	変更前 2期対策	3期対策	
	変更後 2期対策	3期対策	
活動期間	延長しない場合 5年目(活動終了)	次期活動	
	延長する場合	1年延長	次期活動

※活動期間はどちらでも選べます

詳しくは、最寄りの市町担当窓口にご相談ください。



計画調整班

多面的機能支払交付金の  
活動期間が延長できます

# 謹んで令和6年能登半島地震災害のお見舞いを申し上げます

このたびの石川県能登地方を震源とする地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されましたすべての方々に心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済や被災地の復旧・復興支援等のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## お知らせ

「第46回全国土地改良大会 千葉大会」が令和6年10月22日(火)に開催を予定されています。大会テーマが下記のとおり決定されました。

ふさの国から飛び立て水土里の恵み  
力強く未来に繋ごう水土里の礎

### 水土里ネット山口の概要

#### ■ 会員数

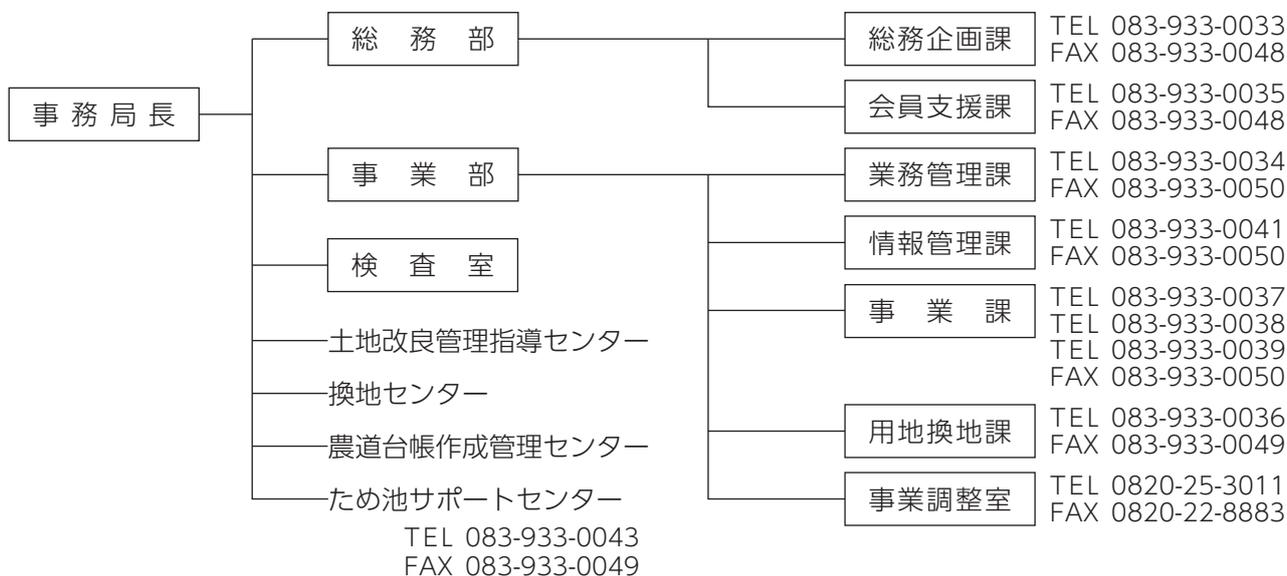
\*会員の資格\*

本会の会員たる資格を有する者は、山口県内において土地改良事業を行うものとされています。(定款第8条)

会 員 総 数	
市 町	19
土 地 改 良 区	94
農 業 協 同 組 合	1
計	114

(令和6年1月1日現在)

#### ■ 事務局組織図 (各課TEL・FAX番号)

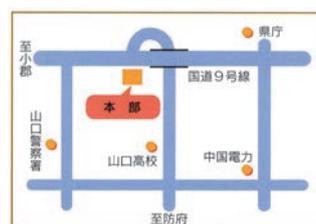


**水土里ネット山口**  
山口県 土地改良 事業団体連合会



本部 〒753-0079 山口市糸米二丁目13番35号  
TEL 083-933-0033 (代表)  
FAX 083-933-0048  
HP <https://www.yamadoren.or.jp>

本部



◇ “水土里ネット山口” は、山口県土地改良事業団体連合会の愛称です。◇